

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市をめざす ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 68

冬号

令和3年  
(2021年)

# 環境ひらかた



## 明けましておめでとうございます

去年は、一昨年続き大きな自然災害も起きましたが、コロナに始まりコロナに明け暮れた1年でした。

コロナの感染拡大に収束の兆しは見えません。それでも新しい年はめぐってきます。1日も早く平穏な日常が戻ってくるのを祈るばかりです。

今年も頑張ってお参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

### ～第15回 エコフォーラム 2021のご案内～

日時:2021年2月13日 10:00～12:30

場所:メセナ枚方会館 2階多目的ホール・ロビー



当日は検温・マスク着用など感染拡大防止にご協力をお願いします。 ※詳しくは中面

### \*\*\*\*\*目次\*\*\*\*\*

新年のご挨拶	P 1
エコフォーラム 2021 開催について	P 2・3
環境ティールーム・環境ミニ講座報告	P 4
各部会報告	P 5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス VOL. 34	P 7
環境ミニ知識	P 8

苦渋の決断！開催を決定

昨年のエコフォーラムは、ちょうど新型コロナウイルス問題が騒がれ始めたころで、感染予防対策をとって開催しました。それから1年。現在の状況は予想されていたのでしょうか。これほど爆発的な感染拡大の事態になるとは思いもよりませんでした。

今年もエコフォーラムの開催時期が近づいています。「開催をどうするか？」話し合いを重ねた結果、例年通りとはいきませんが、エコフォーラムは一年の総まとめとしての意味もあることから下記の通り開催することにしました。

**日時：2月13日(土) 10:00～12:30**

**会場：メセナ枚方会館**

**2F 多目的ホール・ロビー**



当日は検温・マスク着用など感染拡大防止にご協力をお願いします  
(注) コロナの状況によっては中止にする場合があります

## 多目的ホールでは…

- ・各種環境表彰
- ・エコノート継続認定式
- ・エコ宣言当選者発表
- ・プラごみ生活ダイエット  
アイデア募集表彰
- ・わたしたちのまちの電車・  
バスの写真募集結果発表

## 温暖化対策の取り組み報告

温暖化対策として取り組んでいることや、市民の皆さんと一緒に取り組みを進めていること、そしてこれから取り組んでいきたいことなど、報告します。



(写真はいずれも昨年のもので)

## ロビーでは…

- ・環境関連パネル展示  
パネルで知る温暖化問題  
家電リサイクルの流れ  
天の川での取り組み  
里山保全の取り組み 等々
- ・各種体験コーナー  
自転車発電・手回し発電  
エコドライブ
- ・クラフト作り
- ・ブースラリー  
全ブース制覇で枚方の名品  
プレゼント



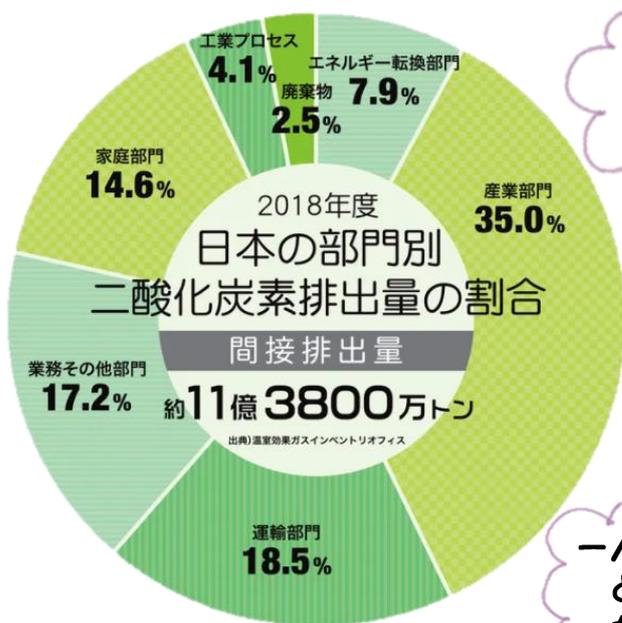
# 「気候非常事態宣言」の下 私たちはいったい何を

昨年11月19日の衆議院本会議で「気候非常事態宣言」が採択されました。同じく26日には、菅総理が就任後初の所信表明で2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガス排出量実質ゼロ宣言をしました。

「排出量実質ゼロにするかどうかはもはや選択ではなくて、地球温暖化を食い止めるために皆が達成しなくてはならないこと。」とコスタリカ政府の気候変動政策担当者が言っていますが、その通りです。

ならば、私たちがとるべき行動は…!

エコフォーラムに来てみて学んで、行動していきましょう!



CO<sub>2</sub>ってどこから出てくるのが一番多いん?



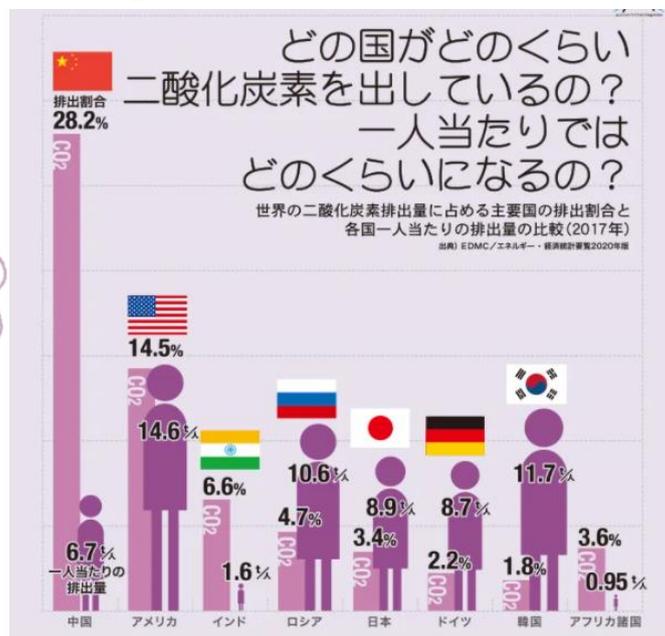
じゃどうすればいいん?



一人だとどうなのかなあ…?



日本ってどれくらいCO<sub>2</sub>を出してるん?



## 環境ティールーム 2020 報告

3年目になってメンバーが増えてきました！

### 9/10 「コロナから環境問題を考える」

参加者に「コロナ拡散による状況の変化」「それによって起こったこと」「起こったことに対する対策や課題」を記入してもらい発表しました。そこからわかったことは、自分の身の回りより少し遠い人々の状況や問題を想像することは難しいということでした。このことは、環境問題にも通じることです。コロナの問題も環境の問題も、世界が協力して対処していくことが大切！

広く世界にまで想像力を高めて、環境問題も考えていこうとの思いを一つにしました。

(前号での報告に加えての報告です)



### 10/8 「都市に田んぼがあることのメリットを考えよう」

「枚方には、まだまだ田んぼがたくさんあるね」「田んぼが近くにあると、いいことが沢山あるね」「でもどんどん開発もされていってるよね」「どうしたら残せるかな」などを、みんなで考えました。

11/12

### 「フラごみダイエットに特效薬はあるか？」

私たちの暮らしに大量に入り込んでくるプラスチック類。その中で“ごみ”になるものについて、「どうやったら減らせるか?」「そもそもなぜ減らさなければならぬのか」「何をすべきか」などについて意見を出し合いました。



楽しくエコ!

## 環境ミニ講座 2020 報告

10/22

### 「天の川ウォーク」

親水護岸としての整備がすすんでいる天の川。枚方市駅から約2kmのコースを説明も交えゆっくり歩き、1時間余りで



サプリ村野に到着しました。参加者からは、「川の水がとてもきれいなことに驚いた」「いい道があって気持ちよく歩けた」「みんなで歩いて、説明もしてもらって、とても楽しかった」などの感想がありました。護岸工事といえば“コンクリート三面張”が多い中、こうした親水型護岸がどんどん増えてきていることも知ってもらえました。



11/26

### 「空き箱 de お正月飾り」

100均で売っているようなお正月飾りですが、家にあるものを工夫してお正月の準備をすることもエコで豊かな暮らしにつながるのではと、色紙や、空き箱などを使ってカラフルで華やかなミニ門松ができました。



# 部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

## 環境教育部会

### コロナ禍に対応した環境出前授業の再開

ひらかた環境ネットワーク会議の年間の事業計画の一つ「環境くらわんか塾」を9月5日に開催して以降もコロナ禍の中、出前授業を行えないような状況が続いていました。いつ終息するともわからない新型コロナウイルス感染拡大の中で、これまで継続して実施してきた環境出前授業も大きく見直しが迫られました。



部会委員・事務局、共に知恵を絞り学校側とも意見交換を繰り返し、対応策を種々検討してきました。その中で対応策としてやっていこうと決めたことは、出前授業の講師・スタッフは、入校時には、「手洗いとマスク着用」に加えて「体調チェックシート」に ① 検温値 ② 熱・咳症状の有無、③ 家族の感染者の有無を記入し提出するということ。更に授業中においても、換気の徹底と適宜アルコール消毒を心掛けるということでした。

その結果10月26日の蹉跎西小学校の「環境問題とエネルギー」の出前授業を皮切りに、12月7日には樟葉北小学校で「環境問題と電気エネルギーについて学ぼう」の環境出前授業を4年生2クラスで開催しました。授業は、児童達に三密回避へのお願いと我々のコロナ対応についての説明から始まり、色々な発電方法と省エネについての勉強と器具を使った体験学習を実施しました。また、今回より新たな三密配慮メニューとして火力発電・水力発電・蓄電ソーラーハウスの模擬実験を取り入れましたが、児童達は室内ミニミニ発電所がLEDランプを点灯させた時、驚きの声を上げていました。



環境問題の対応も新型コロナ感染防止対策も「一人一人の正しい理解と心がけ」が大切であり、正に環境啓発活動と同軸上にあります。今後も学校側と感染防止対策を共有しながら、子供達に環境問題に気づいてもらえるような充実した環境出前授業を部会員が一丸となって継続していこうと思います。

## 自然エネルギー一部会

### 講演会が中止に！ 新たな開催方法を模索！

昨年12月12日に予定していた自然エネルギー学校の講演会「再生可能エネルギー100%社会は可能か?! ～地域からめざす2050年の脱炭素社会～」が、コロナのため中止せざるを得なくなりました。いま最も関心を持ってもらえるテーマであるだけに、開催できなかったことは大変残念です。しかし今年度中に何らかの形では実施したいと思っています。決まり次第皆様にお知らせしますのでご期待ください



# お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。

☎072-847-2286

## ◆◆◆ エコキャップの回収報告 ◆◆◆

エコキャップの取り組みを通して、環境問題に関心を持ち行動するきっかけとなることを願っています



### ● R2年10月27日搬入分

重量：110kg 個数：47,300個 CO<sub>2</sub>削減量：346.5kg

### ● R2年12月3日搬入分

重量：300kg 個数：129,000個 CO<sub>2</sub>削減量：945kg

## ◆◆◆ 取組開始からの累計 ◆◆◆

重量：7,481.8kg

個数：3,217,174個

CO<sub>2</sub>削減量：23,567.67kg

搬入したエコキャップは、再生プラスチック原料として換金され、公益社団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンに寄付され、全国で病気の子供とその家族が利用できる滞在施設の建設費及び運営に充てられます。詳しくは公益社団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンのH・Pをご覧ください。

## ◇◆◆◆写真募集の締め切り迫る◆◆◆◇

電車・バスの写真撮影及び、作品鑑賞という行為を通して公共交通機関に愛着をもってもらい、新型コロナウイルス感染症禍の終息が見込まれた後、公共交通の利用が再び増加していくことを期待して行っている「わたしたちのまちの電車・バスの写真募集」の締め切りが近づいています。既にたくさんの写真が届いています。今からでも「応募してみよう」と思われる方は下記の募集要項(再録)をご覧ください。

記

対象：枚方市内で撮影したもので、電車・バスが入っているものでテーマは自由。

過去に撮影したものでも可。但し未発表のものに限る。

応募方法：下の①～④を記載の上、ひらかた環境ネットワーク会議

(Eメール：[jimukyoku@hirakata-kankyou.net](mailto:jimukyoku@hirakata-kankyou.net))まで

メールで送って下さい

①名前 ②連絡先(郵便番号、住所、電話番号)

③作品タイトル ④思い出など

締め切り：2021年1月12日(火) 必着

応募特典：素晴らしい作品には各賞を準備しています



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、「2030年ガソリン車新車販売禁止!」「メタンガスの放出量が増加」の問題です。

### ◆2030年 ガソリン車新車販売禁止!?

昨年11月、菅総理が2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量実質ゼロ宣言をしたことを受け、「脱炭素」の機運が高まっている。経済産業省は温室効果ガスの排出量実質ゼロにする目標の実現に向け、2030年半ばにガソリン専用車の新車販売を禁止する方向で最終調整に入った。ガソリン車規制が世界各地で相次いでいるが、ガソリンに代わる燃料として注目されているのが水素だ。「水を電気分解すると水素と酸素ができる」と理科で習ったが、この“電気分解”する時に、どのようにして得られた電気を使うかが問題だ。化石燃料を燃やす火力発電では意味がない。ガソリン車に代わる燃料電池車の燃料となる水素には、供給体制や保管、製造方法、コストなどまだまだ課題は多い。「2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量実質ゼロ」の目標に向け、課題が解決されることを望むところだ。

### ◆メタンガスの放出量が増加

温室効果ガスと言われているものは数種類あるが、その中で最も身近で温暖化に最も大きな影響を与えているのが二酸化炭素だ。しかし、二酸化炭素より温室効果が高く、二酸化炭素に次いで温暖化に大きな影響を及ぼしているのがメタンだ。

さて、そのメタンガスだが、昨年11月IPCCが2017年の放出量が5億9600万tで、2000年から2006年の年平均放出量の5億4600万tと比べ、9%増えたと発表した。

メタンと言えば、“牛のゲップ”がやり玉に挙げられるが、1番多かったのは廃棄物や農業からの放出、2番目が自然界の湿地からの放出だったと伝えている。

メタンは大気中の別の物質との化学反応や、土壌中の微生物が食べることなどにより消滅するため10年ほどでなくなるというのだが、これは、収支のバランスがとれている場合だ。放出量が消滅（消費）量を上回れば大気中の濃度は上昇していくことになる。先ほどの数字を見ると、放出量が2500万トン上回っており、濃度は上昇している。

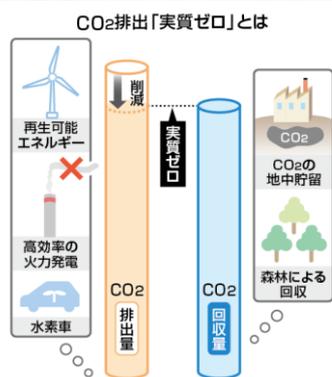
放出量の削減対策の一つとして、冗談ではなく“牛のゲップ”を減らす研究が行われているというが、「化石燃料の製造と使用」にもメタンが発生することを思うと、出来るだけ化石燃料に頼らないライフスタイルを心がけたいものだ。

# 環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



## CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロって？



「CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロってどういうこと？」って思われたことはありませんか？

ここでポイントとなるのが、“実質”という言葉です。“実質”ということなので、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスを全く出さないということではありません。

では全く出さないわけではないのに“ゼロ”というのは…？出したのと同じ量を吸収したり回収したりして、差し引きゼロにするということなのです。

## CO<sub>2</sub>を吸収・回収するって？どうやって？

CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロにするには、出したCO<sub>2</sub>と同じ量を、吸収・回収しなければなりません。ではその方法は…？直接空気回収(DAC)や、回収・貯留付きバイオマス発電(BECCS)などがあります。前者は吸着剤等を用いて大気中のCO<sub>2</sub>を直接吸収・回収し、地中や海底に貯留する方法ですが、まだまだ問題も多くコストも高いことから実用化には程遠い状況だそうで、後者に期待が高まっています。

## ひとこと



東京オリンピックイヤーかと思いきや、まさかこんな年になるとは。会員の皆様も、本当に大変な一年だったと思います。それでも、そのような中でも活動を続けてくれたことに感謝、感謝です。

春にメンバーが減りましたが、秋に同じ位新しい方が仲間に加わってくれて、期首の会員数に戻ったことがとても嬉しく思います。

一年前、会員交流に力を入れていこうと宣言していましたが、リアルな交流が大きく制限され難しい状況でした。今年こそはと思っていますが、どうなることか、早い終息を願うばかりです。



## ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第68号

令和3年1月1日発行（年4回発行）

発行：特定非営利活動法人

ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <https://hirakata-kankyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子

